



健康意識を高め、健康習慣を身につけるための 小学校・中学校・高等学校でのがん教育

医学部附属病院 助教 園山 陽子

令和2年度より外部講師として学校・県より依頼を受け、学校での出張授業を行っています。これまでに島根県内の小学校・中学校・高等学校で授業を行い、学校の先生方とも連携してがん教育を推進しています。島根県教育委員会発行の「がん教育Q&A集」作成にも協力しています。

学校でのがん教育は令和2年度より小学校で全面実施となり、令和3年度より中学校、令和4年度より高等学校で必修化された新しい取り組みです。生涯のうち国民の二人に一人が罹患するとされるがんは重要な課題であり、健康に関する国民の基礎的教養として身に付けておくべきものとなっています。生徒さんたちのよりよい理解のため、臨床経験を有する医療従事者が外部講師として行うがん教育の充実は学校からも求められています。実際にがん診療を行っているがん専門医として、今後も学校でのがん教育に協力していきたいと思います。





